

第32期 第2四半期報告書

(2025年10月1日から12月31日まで)



2026年1月29日

株式会社 旅籠屋

会社名（定款上の商号）

株式会社 旅籠屋

英文名（英文商号）

Hatagoya & Company

代表者の役職氏名

代表取締役 甲斐 真

本店の所在地

東京都台東区寿3丁目3番4号

電話番号

03-3847-8858

連絡先

取締役 亀井 明

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

期別 科目	前年度	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度 累計 2025.7.1～ 2025.12.31	前年同期 比	前年度
	第2四半期 2024.10.1～ 2024.12.31	第3四半期 2025.1.1～ 2025.3.31	第4四半期 2025.4.1～ 2025.6.30	第1四半期 2025.7.1～ 2025.9.30	第2四半期 2025.10.1～ 2025.12.31			2024.7.1～ 2024.12.31
	2024.7.1～ 2024.12.31							
I 営業収益 売上高	621,367	526,486	580,945	772,603	668,329	1,440,932	+ 6.6%	1,352,342
II 営業費用 売上原価	487,232	514,155	489,839	516,389	518,716	1,035,105	+ 6.1%	975,525
販売費及び一般管理費	69,869	70,969	75,994	81,643	81,746	163,390	+ 21.3%	134,656
営業利益または営業損失(▲)	64,266	▲58,639	15,111	174,569	67,866	242,436	+ 0.1%	242,160
III 営業外収益	1,776	1,961	5,072	768	304	1,072	▲69.3%	3,495
IV 営業外費用	7,632	7,494	7,708	7,759	7,651	15,411	▲2.7%	15,845
経常利益または経常損失(▲)	58,410	▲64,172	12,475	167,578	60,519	228,097	▲0.7%	229,808
V 特別利益	—	—	—	—	—	—	—	59,211
VI 特別損失	36,480	44,776	▲200	18,500	2,833	21,333	▲65.6%	62,050
税引前四半期(当期)純利益または純損失(▲)	21,930	▲108,949	12,675	149,078	57,685	206,764	▲8.9%	226,969
法人税、住民税	4,115	4,115	4,422	4,231	4,231	8,463	+ 2.8%	8,230
法人税等還付額	—	—	—	—	—	—	—	—
法人税等調整額	—	—	▲20,664	—	—	—	—	—
四半期(当期)純利益または純損失(▲)	17,815	▲113,064	28,917	144,846	53,453	198,300	▲9.3%	218,739
期中平均株式数	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	5,589	—	5,589
1株当たり四半期(当期)純利益または純損失(▲)	3,188 円	▲20,230 円	5,174 円	25,916 円	9,564 円	35,480 円	▲3,658 円	39,138 円
※ 客室稼働率	66.3%	64.2%	64.3%	58.9%	59.4%	▲6.9p	66.3%	

・潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

・特別損失は、退任役員に対する退職慰労金と裁判関連の支払いによるものです。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別		前年度	前年度	前年度	当年度	当年度
	第2四半期末 2024.12.31	第3四半期末 2025.3.31	第2四半期末 2024.12.31	第3四半期末 2025.3.31	第4四半期末 2025.6.30	第1四半期末 2025.9.30	第2四半期末 2025.12.31
			2024.7.1～ 2024.12.31				
I 流動資産 現金預金			868,652	645,688	730,619	915,721	921,506
その他			261,850	300,067	241,761	263,272	290,462
流動資産合計			1,130,502	945,775	972,381	1,178,993	1,211,969
II 固定資産 有形固定資産			788,874	801,484	787,157	771,859	752,457
無形固定資産			16,428	15,553	14,678	13,803	12,928
投資その他の資産			202,063	199,284	197,596	240,976	239,580
固定資産合計			1,007,367	1,016,322	999,432	1,026,640	1,004,966
資産合計			2,137,870	1,962,098	1,971,813	2,205,633	2,216,936
(負債の部) I 流動負債			223,964	158,513	139,946	250,953	209,436
	II 固定負債	長期借入金	1,762,852	1,762,829	1,762,829	1,740,829	1,739,829
		他の固定負債	24,600	27,400	26,800	26,800	27,200
負債合計			2,011,847	1,949,139	1,929,937	2,018,911	1,976,759
(純資産の部) I 株主資本 資本金			100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		その他資本剰余金	41,710	41,710	41,710	41,710	41,710
		利益剰余金 緑越利益剰余金	▲27,805	▲140,869	▲111,952	32,894	86,348
		自己株式	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798	▲56,798
		株主資本合計	126,023	12,958	41,875	186,722	240,176
		純資産合計	126,023	12,958	41,875	186,722	240,176
		負債・純資産合計	2,137,870	1,962,098	1,971,813	2,205,633	2,216,936
	発行済株式総数(株)		5,589 株	5,589 株	5,589 株	5,589 株	5,589 株
	1株当たり純資産(円)		22,548 円	2,319 円	7,493 円	33,409 円	42,973 円

・長期借入金のうち、商工組合中央金庫からの 300,000 千円、日本政策金融公庫からの 150,000 千円、日本政策投資銀行からの 300,000 千円は、それぞれ資本性借入金であり、金融検査上資本とみなされるものです。

(3) 株主資本等変動計算書 (2025年7月1日～12月31日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	資本金	株主資本				純資産合計	
		資本剰余金		利益剰余金	自己株式		
		資本準備金	その他資本剰余金	その他利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	68,916	41,710	▲111,952	▲56,798	41,875	41,875
第1四半期中の変動額 四半期純利益				144,846		144,846	144,846
第1四半期中の変動額の合計				144,846		144,846	144,846
2025年9月30日残高	100,000	68,916	41,710	32,894	▲56,798	186,722	186,722
第2四半期中の変動額 四半期純利益				53,453		53,453	53,453
第2四半期中の変動額の合計				53,453		53,453	53,453
2025年12月31日残高	100,000	68,916	41,710	86,348	▲56,798	240,176	240,176

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

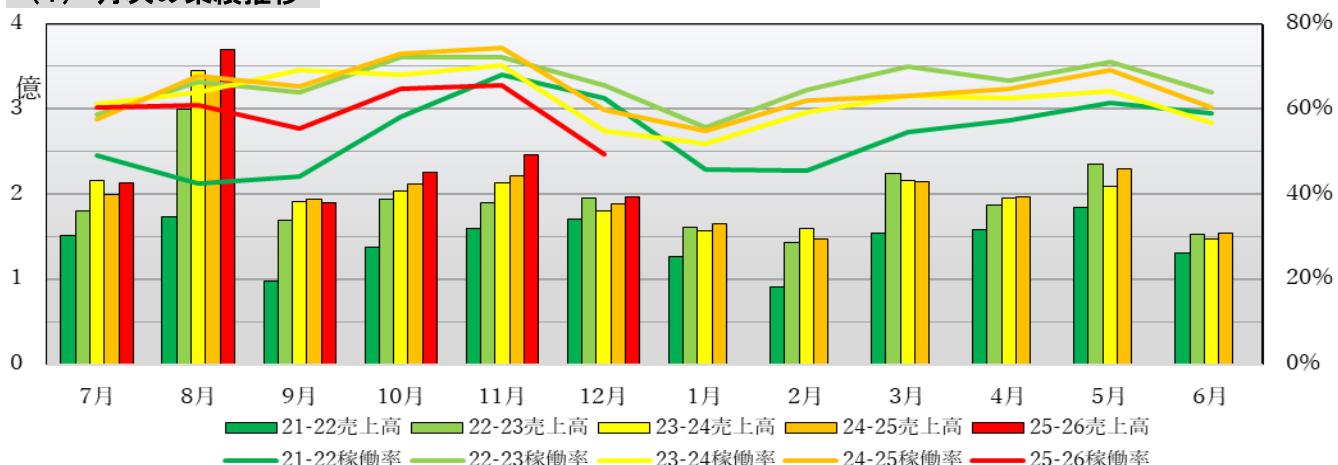
四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「第31期事業報告書 注記表 I.重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。

なお、事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続きと異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

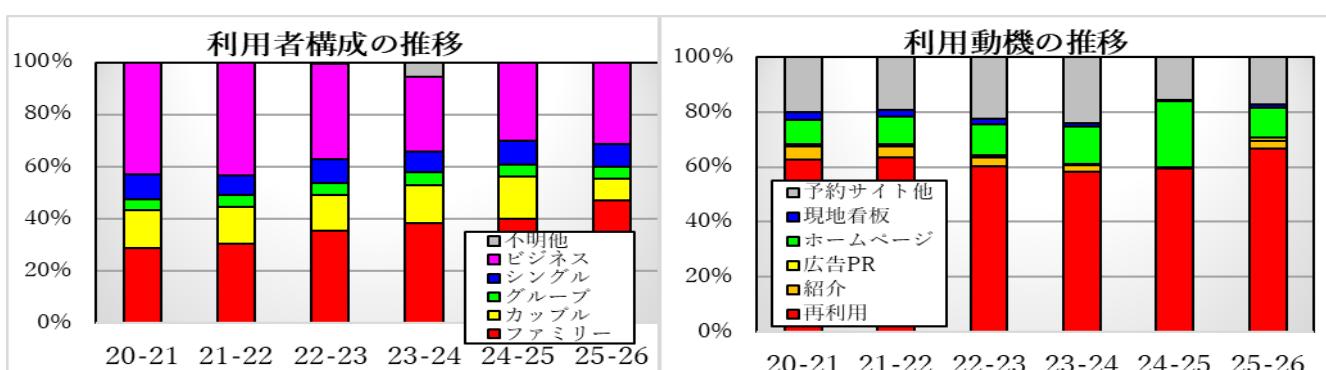
II 第32期(2025年7月1日～12月31日)の業績の概況

(1) 月次の業績推移



売上高は、昨年9月を除いて前年同月を上回りましたが、8月からの料金値上げの影響で客室稼働率は8月以降前年同月を大きく下回っています。とくに減少が顕著な1室1～2名利用を対象に「オフシーズン料金」を設ける予定です。

(2) 顧客属性の推移 (第2四半期、7月1日～12月31日)



利用者構成は、ファミリー客の増加とカップル（1室2名利用）の減少が顕著です。

利用動機については、再利用が66.6%と2/3を占め、ホームページの減少が目立ちます。

III 第32期の売上高および利益の予測について (単位:千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

期別 科目	第28期 通期実績 2021.7.1~2022.6.30	第29期 通期実績 2022.7.1~2023.6.30	第30期 通期実績 2023.7.1~2024.6.30	第31期 通期実績 2024.7.1~2025.6.30	第32期 通期予想 2025.7.1~2026.6.30
売上高	1,735,040	2,330,659	2,431,760	2,455,156	2,550,000
経常損益	▲246,384	169,268	216,090	178,111	180,000
当期純損益	▲329,585	200,088	203,997	134,592	150,000

8月1日からの料金値上げの影響により、客室稼働率の低下が続いているが、売上高は増加する見通しです。

IV 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位:千円、千円未満は切り捨て)

期 科目	第31期第2四半期 2024.10.1~12.31	第31期第3四半期 2025.1.1~3.31	第31期第4四半期 2025.4.1~6.30	第32期第1四半期 2025.7.1~9.30	第32期第2四半期 2025.10.1~12.31
現金および預金の増減額	+41,629	▲222,964	+84,931	+185,102	+5,785
現金および預金の四半期首残高	827,023	868,652	645,688	730,619	915,721
現金および預金の四半期末残高	868,652	645,688	730,619	915,721	921,506

(2) 短期借入金の増減 (単位:千円、千円未満は切り捨て)

期 科目	第31期第2四半期 2024.10.1~12.31	第31期第3四半期 2025.1.1~3.31	第31期第4四半期 2025.4.1~6.30	第32期第1四半期 2025.7.1~9.30	第32期第2四半期 2025.10.1~12.31
短期借入金の増減額	—	▲84,976	—	+22,000	+1,000
短期借入金の四半期首残高	84,976	84,976	0	0	22,000
短期借入金の四半期末残高	84,976	0	0	22,000	23,000

(3)長期借入金の増減 (単位:千円、千円未満は切り捨て)

期 科目	第31期第2四半期 2024.10.1~12.31	第31期第3四半期 2025.1.1~3.31	第31期第4四半期 2025.4.1~6.30	第32期第1四半期 2025.7.1~9.30	第32期第2四半期 2025.10.1~12.31
長期借入金の増減額	—	▲23	—	▲22,000	▲1,000
長期借入金の四半期首残高	1,762,852	1,762,852	1,762,829	1,762,829	1,740,829
長期借入金の四半期末残高	1,762,852	1,762,829	1,762,829	1,740,829	1,739,829

(4) 投資その他の資産の内訳 第32期第2四半期末 (2025年12月31日) 時点 (千円未満は切り捨てて表示)

170,553 千円	… 借上直営店における差入れ保証金 (契約満了時返済)
65,558 千円	… 「水戸大洗店」「仙台直理店」改修工事建設協力金
1,210 千円	… 取引信用金庫などへの出資金
1,835 千円	… 信用保証協会への信用保証料
389 千円	… 繰延税金資産
34 千円	… リサイクル預託金
合計 239,580 千円	

V 今後の事業展開について

「那須店」は、来夏までには再開できる見通しです

建築確認申請の遅延などにより遅れておりましたが、2月に着工し、来夏までには竣工・営業再開となる見通しです。

「前橋南店」「九十九里店」の新契約がまとまり、さらに20年間の営業継続が決まりました

初期の店舗は順次20年間の契約期間が満了し、新契約の交渉を行っています。「仙台直理店」と「小淵沢店」に続いて「前橋南店」と「九十九里店」も新契約がまとまり、さらに20年間の営業継続が決まりました。これにともない、両店舗とも改修工事を行い、「誰でもトイレ」「非常用発電機」「EV用普通充電設備」などを新設します。

オフシーズン料金を新設します

昨年8月1日より料金の値上げを行いましたが、客室稼働率の低下が目立っているため、5月6日宿泊分より一部の店舗において「オフシーズン料金」を設けることとします。具体的には、稼働率の低下が顕著な1室1名利用(6,900円→6,000円)1室2名利用(11,000円→9,900円)に限って値下げを行います。

以上